



栃木市立大平東小学校
学校だより 第1号
令和7年4月10日
学校長 新村 勲



日々の学校の様子や行事予定をホームページに掲載しています。ご覧ください。



【学校の教育目標】 かしこく なかよく たくましく

和の精神（和して同ぜず）

今年度も毎月1回程度、学校だより「東山」に私の方針や考えを書いていくことにいたします。一回読み切りのお話ということで、読み流していただければ幸いです。

のっけから少しばかりかたい話になりますが、校長の仕事は学校を経営することだと言われます。4月の最初に学校の教職員に「学校経営計画」という文書を配付し、経営の方針等を説明しました。その中に「学校経営の基本理念」という項目があります。これを次のように一新しました。

2 学校経営の基本理念

和の精神（和して同ぜず）

校庭南側にある時計塔（創立50周年記念事業）に刻まれている「和」の精神を受け継いでいく。

「和して同ぜず」の「和する」とは「当事者意識をもち協力・協調すること」で、「同ぜず」とは「主体性を失わないこと」である。多様な他者と力を合わせ、なおかつ自分らしさを失わないことである。

全教職員が「和の精神」をもち教育活動に取り組み、児童も「和の精神」をもち学習・活動に取り組む。

学校・家庭・地域が「和の精神」をもち、連携して「地域とともにある学校づくり」を推進する。

時計塔（創立50周年記念事業）については、昨年の朝会で全校児童に授業をし、学校だより11月号に詳しく紹介しましたので、お時間のある方は学校ホームページ［おたより］でご確認ください。

「和して同ぜず」は論語の言葉です。「君子は和して同ぜず、小人は同じて和せず」。

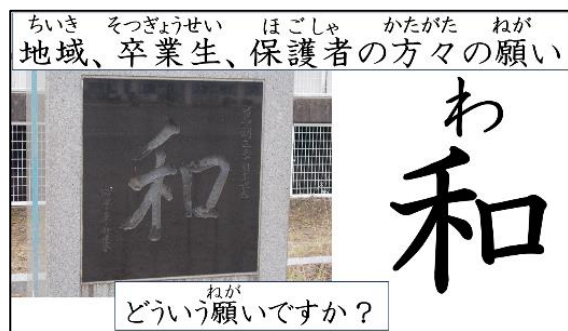
子供たちに「学校はなかよくするところ」ということを話しています。相手の言われるがままに従うことが「なかよく」ではなく、自分にも相手にも共に「いいこと」が起きるのが「なかよく」です。

大平東小の子供たちには「和の精神」がしっかり引き継がれていると感じています。なかよく遊んでいること、なかよし班での活動、代表委員会での話し合い、登校班・清掃での協力など挙げればきりがありません。

子供たちだけでなく、保護者の方々、地域の方々にも「和の精神」は引き継がれ、大変協力的です。

脈々と引き継がれている「和の精神」を学校経営の基本理念として、これからも引き継いでいきたいと思います。

今年度ご理解・ご協力をお願いいたします。



入学式

30名の新1年生

ご入学おめでとうございます！

入学式中の態度が立派で素晴らしい1年生だと感じました。校長式辞では、1年生に「学校はかしこくなるところ。学校はなかよくなるところ。」というお話をしました。「かしこく」「なかよく」なるように一緒にがんばっていきましょう。



令和7年度 栃木市立大平東小学校 職員一覧						令和6年度 教職員定期人事異動 《退職・転出 等》			
	担当等	氏 名		担当等	氏 名	No.	担当等	氏 名	退職・転出先 等
1	校長	新 村 勲	11	1年1組担任	平 澤 忍	1	教務主任	黒 子 貴 之	藤 岡 小 学 校
2	教頭	平 野 朱 美	12	2年1組担任	小 倉 咲 恵	2	6年1組	小 口 柊 里	小山市立下生井小学校
3	教務主任	落 合 睦 美	13	3年1組担任	池 野 藍	3	スマイル非常勤	田 中 朋 子	小山城北小学校
4	学力向上担当	石 川 竜 一	14	4年1組担任	柿 沼 順 子	4	初任者後補充	齋 藤 初 代	
5	主任（事務）	一 柳 実 穂	15	5年1組担任	川 島 貴 大	5	ALT	ジョナタン・E	岩舟小・部屋小
6	養護助教諭	堀 真 祐 子	16	5年2組担任	岸 永 理 奈	6	教員業務支援	柳 田 康 夫	退 職
7	学校技能員	大 山 千 秋	17	6年1組担任	石 渡 一 馬	7	養護教諭	長谷川 裕美	産前休暇のため在宅
8	学校図書館事務員	生 澤 康 子	18	かがやき学級担任	本 村 芳 美	《転入・新採 等》			
9	学校支援員	山 根 貴 子	19	あおぞら学級担任	餘 沢 光 俊	No.	担当等	氏 名	前任校 等
10	ALT	ジャナ メイ・P	20	初任者指導教員	高 木 紀 之	1	教務主任	落 合 睦 美	真 名 子 小 学 校
			21	初任研後補充	日向野 香澄	2	2年1組	小 倉 咲 恵	小山市立中小学校
						3	養護助教諭	堀 真 祐 子	長谷川養護教諭の産休補助
						4	初任者後補充	日向野 香澄	
						5	ALT	ジャナ メイ・P	兼務校 栃三小
						6	教員業務支援	青 木 稔 憲	

長谷川 裕美 養護教諭が4月から出産のための休暇に入ります。堀 真祐子 養護助教諭が産休補助として勤務します。

◆地域の方から感想が寄せられました。ご紹介いたします。（原文のまま）

卒業式に参列させていただきました。卒業生、在校生とも立派な態度で臨んでいました。少子化により人数も少なくなり、ちょっと寂しい気もしますが、その分、一人一人を大切に、ゆったりとした式になったように思います。校長式辞では、原稿を見ることもなく、卒業生に向かってのメッセージは、対話をしているように思えました。素晴らしいメッセージで感動しました。校長先生をはじめ、先生方と一丸となって子どもたちに様々なメッセージを指導、支援を通して届けてきたのだと思います。あたりまえなことでも、ありがとうと感謝の気持ちを持ち続けてくれる子どもたちでいてほしいと思いました。素晴らしい卒業式をありがとうございました。

（メールアドレスの入力があつたので次のように返信しました）

【校長より】卒業式へのご参加ありがとうございました。何より日常の授業や指導が大切なのだと思います。日常の積み重ねが卒業式などの行事の姿に表れるのだと思います。個人差はありますが、子供たちがしっかり育っているなと思います。保護者の方々、地域の方々、教職員に感謝しています。立場上、子供たちの前で話をする機会がありますが、貴重な時間を頂いているので、いかに伝えるかを意識しています。それには「話す」ではなく「語る」ことが大切なのだと思います。このように丁寧な感想を送っていただける地域の方がいて心強く思います。今後どうぞよろしくお願いいたします。

私からの一方向ではなく、双方向になればよいと思っております。「学校だより」やホームページ等へのご感想・ご意見をお寄せいただけるとありがたいです。

